

日用重寶  
百種佳集  
童訓字盡





# 孝

親に孝行す  
 孝は親を敬ふことなり  
 孝は徳の根本なり  
 孝は百善の先なり  
 孝は天子の位に  
 至るまで  
 孝行すべし  
 孝は人の命なり  
 孝は人の徳なり  
 孝は人の名なり  
 孝は人の身なり  
 孝は人の心なり  
 孝は人の魂なり  
 孝は人の神なり  
 孝は人の鬼なり  
 孝は人の魔なり  
 孝は人の妖なり  
 孝は人の怪なり  
 孝は人の邪なり  
 孝は人の惡なり  
 孝は人の罪なり  
 孝は人の過なり  
 孝は人の失なり  
 孝は人の誤なり  
 孝は人の差なり  
 孝は人の欠なり  
 孝は人の短なり  
 孝は人の弱なり  
 孝は人の病なり  
 孝は人の死なり



孝行の徳

# 弟

兄弟は人の命なり  
 兄弟は人の徳なり  
 兄弟は人の名なり  
 兄弟は人の身なり  
 兄弟は人の心なり  
 兄弟は人の魂なり  
 兄弟は人の神なり  
 兄弟は人の鬼なり  
 兄弟は人の魔なり  
 兄弟は人の妖なり  
 兄弟は人の怪なり  
 兄弟は人の邪なり  
 兄弟は人の惡なり  
 兄弟は人の罪なり  
 兄弟は人の過なり  
 兄弟は人の失なり  
 兄弟は人の誤なり  
 兄弟は人の差なり  
 兄弟は人の欠なり  
 兄弟は人の短なり  
 兄弟は人の弱なり  
 兄弟は人の病なり  
 兄弟は人の死なり



兄弟の徳









杷 約 秤 篋 襪  
 蒲 板 栲 齒 竹  
 笈 勰 貫 樨 杷  
 樞 簾 拈 楠 疾  
 樺 刷 茲 天 杷

秋 仍 文 凡 百  
 穰 之 字 百 性  
 犁 道 農 性 性  
 馬 具 業 五 漢  
 杷 勰 耕 極 來



也第  
道真  
字畫

綱金電  
罐子菜  
如水桶  
淘米桶



间 枕 梳 連 架 稻  
 极 確 確 杵 春 肘  
 木 枕 磨 箕 泥 障  
 箬 箬 箬 板 簾 间 簾  
 竹 篾 子 心 精 篩

栳 牌 序 桶 水 車  
 馱 車 斫 骨 車 簍  
 箕 第 雅 石 筍 水 之 加  
 終 理 披 損 每 日  
 田 烟 也 具 迫 指 骨



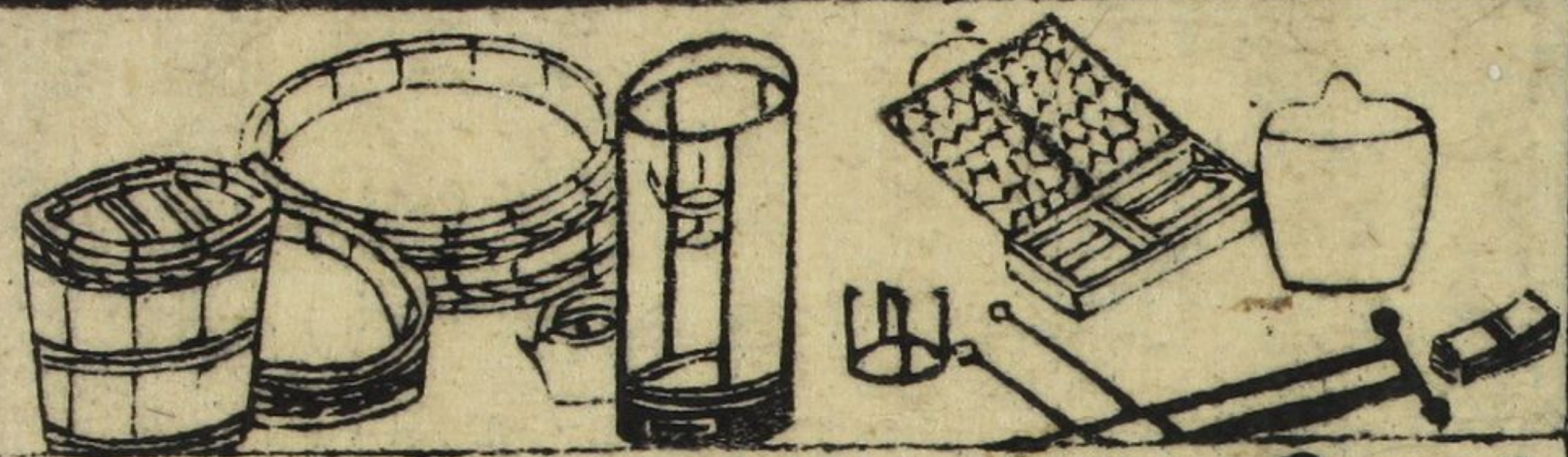


十 十 十 十 十 十 十 十  
 七 七 七 七 七 七 七 七  
 水 水 水 水 水 水 水 水  
 囊 囊 囊 囊 囊 囊 囊 囊  
 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆  
 水 水 水 水 水 水 水 水  
 七 七 七 七 七 七 七 七

中下町反畝  
 地勢田本陸田向  
 廣校長短甲乙多  
 少宜売之考變地  
 成血表水損軍換之

米厘舟七地之上  
 淨繩と清原屋分  
 狭地入指直名主  
 究察地重均於海所  
 肝要也相亦彩田





物焙箱 炭清火 木箱 木行燈 油土釜 味骨粉 半剪盤 五徳鉄 稻火箸

百五

五

手當七比海舟河  
 筋七地七築算煙  
 樋七去手堰齧齧  
 冥板非に柵と逐一  
 目福具長帳と公まく

村方之物入今今  
 別者也肥七下齒  
 了糞馬端茶の干齧  
 魚腸乾苔羸子齧  
 帖糖油絞粕菜灰









初子柄  
 初若法  
 利入子  
 塗去未碎  
 重乾食  
 蘇益門  
 養はす  
 蒸氣煙  
 草益烟

本場之牽別之末  
 進歩之極可也  
 者也亦亦亦  
 道乃清傳之  
 領私領村定大

玉膏碑蓋未嘗之  
 極遠吟味茶末碎  
 五名宜宜合種儀  
 長入清苑納洋

初子柄

七





送花物率領中  
 渡之道橋船川渡  
 場往還大乃之掃  
 凍化村入云之境  
 我授吾之松之松店

筒吹入  
 吸抽換  
 火津現  
 箱扉風  
 名杉基  
 盤日茶  
 石

助堂村加助役  
 助彌向在人多割  
 弱順畫畫宿驛之刻  
 着沖用兵指交松  
 馬指之任指志繼







歡云澳  
字通冷

一之  
秋之  
子

野玉香花

水  
☵

平年  
光日

平子親

水  
☵

子丑年  
廿八日

大田如末

水  
☵

赤帝年  
八日

立貴因之積之  
魁合以年法之法  
平生重清  
清領私私之教  
清代官一顧身之

分限家之造作  
此古之人攝立大  
琴傳流序之策  
子稅屋根之草茅  
菁迥門門坊坊



虛室無味

飛 三

寅年 十一日

不動明王

吳 三

酉年 十一日

文殊菩薩

又 三

卯年 十一日

孫治如來

不 三

戌年 十一日

穿之入格子菓子菓子

菱形鴨居戸漆子

古物と用鋪抄

莞延蒲席蓆蓐

藉縁五法宮之

古物と法衣減害

下名廉服織本蓆

道具と枕車唐弓

刀強束車防揺束

巻鯛林棕枕蓆同



ふげんがきう  
並り堅き善哉

丸  
三

辰巳年 縁日  
廿四日

世中  
七猿  
教歌

ほくしぐと  
うたせの  
中流  
まのら  
まのら  
まのら  
まのら



樞杵管之機下機  
考也常之糧也  
後唐米麦拔割枕  
米粉割陳卷米  
扱壑搗搗精以兮

大切表粮仕込置  
飢饉之食之湯控  
い得才一也茶菓子  
七変焦梅茶  
指心宮人七餅或



八んさきも  
 いんごもあ  
 ざんごしれと  
 うらたよの  
 あつみ  
 るたふひま



それもぬ  
 いしんざり  
 うりりれ  
 さんざり  
 世を  
 ゆあし  
 かつ



酒 饌 或 者 之 妻 切 沈  
 沼 之 魚 菜 園 之 野  
 菜 子 炊 之 酒 之 食  
 野 業 之 陳 之 木 樵  
 落 葉 枕 若 皇 後 草

鞋 化 之 草 葉 菜 粟  
 得 穀 七 楸 村 牙 卷  
 与 拘 之 旅 山 若 原  
 萩 為 林 場 之 枯  
 草 之 外 之 牛 馬





まひりて  
のぞみおれ  
くしき  
まひりて  
まひりて  
まひりて



何事も  
おれを  
まひりて  
まひりて  
まひりて  
まひりて

一丈馬二丈駢三丈  
駢四丈木也名取古  
政右戰場内海葦  
海沼江入江淺塩  
漢古之用古法之

之銅料之糶可司  
叔亦牛了之馬喰  
牛之糶二丈糶三  
丈細四丈物五丈  
糶六丈了之馬

百五十五



らうらぬ  
かたに  
人のおも  
いふ  
よ



倒れし其の道くと辨  
知徳ふ切山林之行  
本ふ採人之地不  
被浪田心盡才之  
輩と後子孫永成

ふん  
い  
の  
ま  
ま  
なり



富貴無不富之象化  
神々叶真加年ふ  
有能徳る本件

此一冊の農家皇子の為にお札に綴て金板  
赤文字と改め後名を正しして後記易く  
らば派不派流ふ祈の基かんと而已



上地村

小林善四郎

所持